

こっこめ通信 02 2003

ハ丈島ではアカコッコの事を親しみを込めて
「こっこめ」とよびます。

「珍鳥で初記録ラッシュ！」号

1月に入り、急に寒くなったり、暖くなったりと相変わらず変な気候が続いています。そんな中、風のない穏やか日にはウグイスやコジュケイのさえずりも聞こえるようになりました。

また、昨年より季節の移り変わりが少しいつもとは違ってきているせいでしょうか、ハ丈島には変わった鳥の姿が目立っています。中には、ビジターセンターの観察記録で初記録の鳥や、ハ丈島での初記録もありました。ちなみに島での初記録は、他の地域では普通の場合も多くあります。それがまた海洋島らしくおもしろいですよ。今回は島で最近観察されたそんな迷鳥のお話です。

「ケイマフリ」ってどんな鳥？



2003. 1. 8. 八重根漁港



2003. 1. 8. 八重根漁港

1月8日、数日前に渡ってきたオオハクチョウを確認しに、八重根漁港に行ってみると水面を泳いでいる「ケイマフリ」を見つけました。日本では北海道天売島、知床半島、積丹半島などで繁殖し、東北地方北部以北では留鳥。同地方以南から本州中部以北では冬鳥として渡来するそうです。ハ丈島での記録も過去にあったようですが、いつ見られたかは定かではありませんでした。

双眼鏡で観察すると夏羽の真っ黒な姿とは違い、喉のあたりや体下面は白くなりすっかり冬羽に変わっていました。名前の由来になった赤い足（アイヌ語で赤い足をケマフレと言うそうです）で港の中をゆっくり泳いでいたかと思えば、急に海の中に潜っていってしまいました。そして予想もしなかった場所に浮き上がっては、また潜り、何度目かに浮き上がった時には口に魚をくわえていました。魚を落とさないように飲み込み、少し休んでまた餌を探していました。

この「ケイマフリ」はビジターセンターの観察記録では初記録になりました。

どんな鳥もそうですが、じっくり観察すると愛着が湧いてきますね。

チドリ目／ウミスズメ科 ケイマフリ（海鵜） *Cepphus carbo*

「アカコッコ」とは日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物にも指定されています。ハ丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

他にも来たぞ変な鳥！

変な鳥という言い方は失礼かもしれませんが、2003 年になり、例年では見かけない色々な鳥が観察されています。その中で写真撮影が出来た 3 種類の鳥を紹介します。

八重根漁港に 2 羽のハクチョウがいるという情報がビジターセンターに入ったのは、1 月 2 日の事でした。確認しに行くと、まだくちばしが黄色ではなく、体も少し灰色がかっている 2 羽のオオハクチョウでした。しかしその後 1 羽になり心配していると、東京電力さんから敷地内にハクチョウがいるという電話があり、その後無事に保護されて、今は 2 羽とも優雅に八重根漁港に浮いています。

コハクチョウは度々島に飛来しますが、ビジターセンターで確認しているオオハクチョウは 2000 年 11 月に末吉小学校の運動会に降りてきた 1 羽と今回の 2 羽だけになります。



2003. 1. 3. 八重根漁港
カモ目／カモ科 オオハクチョウ（大白鳥）*Cygnus cygnus*



2003. 1. 12. 植物公園
ハト目／ハト科 アオバト（緑鳩）*Sphenurus sieboldii*

八丈島にいるカラスは、すべてがハシブトガラスと言っていいほどですが、ハシボソガラスの記録もあります。今回のミヤマガラスは、初記録と思われます。

公園予定地にいるこのミヤマガラスを観察していると、くちばしをうまく使って石をひっくり返し、石の下にいる虫などを食べていました。

八丈島で観察された鳥類は、2000 年にビジターセンターでまとめたデータで 246 種になります。その後、今回紹介したミヤマガラスなど、迷鳥と呼ばれる種が何種類か追加されています。



2003. 1. 21. 公園予定地
スズメ目／カラス科 ミヤマガラス（深山鴉）*Corvus frugilegus*

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。

前回は1月12日に観察会を行いました。下の表が調査記録です。

八丈植物公園季節調査（平成15年第1回）

平成15年1月12日（日） 13時30分～15時

参加者・伊藤，伊勢崎，青柳，村上，西村，松本，菊池，安彦，奥山，V.C. 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			木本		
1	オオアレチノギク	花と種	1	ハゼノキ	紅葉と実
2	ウスベニニガナ	花と種	2	トベラ	熟した実
3	イワニガナ	花	3	ホルトノキ	熟した実
4	カタバミ	花	4	シマクサギ	熟した実
5	イガガヤツリ	実	5	モチノキ	蕾
6	ススキ	実	6	ヤブツバキ	花
7	コセンダングサ	花と種	7	マンリョウ	熟した実
8	シロバナセンダングサ	花と種	8	マサキ	熟した実
9	ヘクソカズラ	熟した実	9	ヤツデ	若い実
10	ツルソバ	花と実	10	ハチジョウキブシ	蕾
11	アメリカセンダングサ	花			
12	マツバラン	若い孢子	今回の調査では、普段滅多に見られないアオバト2羽が現れ、それをじっくりと観察していたので、時間が少なくなっていました。		
13	アツバスミレ	花			
14	オニタビラコ	花と種			
15	ヒナギキョウ	熟した実			
16	ツワブキ	花と種			
17	ノシラン	熟した実			
今回は27種の植物とアオバト2羽を観察しました。					

※ビジターセンターでは八丈植物公園の季節変化の公開調査を月1回程度行なっています。

興味のある人は窓口でお問い合わせください。

植物の名前をこれから覚えたいと思っている人など大歓迎。次回調査は2月9日（日）です。

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。

今回は植物公園ではこれから見られる「シマテンナンショウ」にスポットを当ててみたいと思います。



シマテンナンショウ *Arisaema negishii*

サトイモ科の植物で、三宅島・御蔵島・八丈島だけに分布します。

花は小さく目立ちませんが、花序（かじょ）を包む大きな仏炎苞（ぶつえんほう）があるのが特徴です。他の種と見分けるのは仏炎苞からひもが出ることや、葉が二枚あることで区別できます。

昔は球茎を茹で餅のようにして食べていました。島では「ヘンゴ」と言います。

2003 八丈ビジターセンター 2 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時間は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時間です。
左側が満潮時間、右側が干潮時間です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
 この色の日は 特別行事があります						● 1 ガイドウォーク 06 : 14 11 : 24 16 : 37 23 : 33
2 ガイドウォーク 06 : 41 11 : 55 17 : 17	3	立春 4	5	6	7	8 ガイドウォーク 08 : 49 02 : 24 21 : 22 15 : 27
☾ 9 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 09 : 14 02 : 50 22 : 47 16 : 28	10	11 ガイドウォーク 02 : 06 03 : 40 10 : 28 19 : 16	12	13	14	15 ガイドウォーク 05 : 19 10 : 38 15 : 46 22 : 39
16 ガイドウォーク 05 : 46 11 : 08 16 : 31 23 : 18	○ 17	18	雨水 19	20	21	22 ガイドウォーク 八文学講座 「泥染め体験」 08 : 19 02 : 14 21 : 27 14 : 56
23 ガイドウォーク 08 : 41 02 : 44 23 : 04 15 : 54	☾ 24	25	26	27	28	

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じよう
2/9 (13:30～ 約1時間半)
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

八文学講座

「泥染め体験」

毎月行っている八文学講座。今回は、泥でハンカチを染めます。どんな何色になるのかな？
2/22 (13:30～ 約1時間半)
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費：800円（材料費込） 定員：15名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ 八丈・四季・人・自然

14:00～ 八丈・四季・人・自然

15:00～ 八丈・四季・人・自然

16:00～ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2003.2.1 第21号

開館時間 9:00～16:30 年中無休（入場無料）

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

（ホームページでは「こっこめ通信」をカラーで見ることができます）

編集後記

鳥だけではないですが、生き物をじっくりと観察すると色々なものが見えてきておもしろいです。今回も写真を撮るのにじっくりと観察できて楽しかったです。それにしても鳥の写真は難しいです。（高）